

剣誠神

チャンバーライブ ろくどうのつじ けんせいじん

天智天皇 閻魔オオジ

飛鳥時代の天皇。権力を伸ばしていた蘇我氏を討ち、天皇中心の新しい政治『大化の改新』を行った。



地下鉄東西線「御陵」駅の「みささぎ」は、実は天智天皇のお墓のこと。三条通から参道が伸びている。ひっそりとした森は早朝の散策に最適。

中臣鎌足 ドン・フジワラ



飛鳥時代に天智天皇の右腕として大活躍！天智天皇より藤原の姓をもらった。藤原氏の祖。

三条通り沿い、京都薬科大学東側の石屋さん前に山階寺跡の碑が。鎌足が祀られた山階精舎が山階寺になり、後に奈良の興福寺になった。

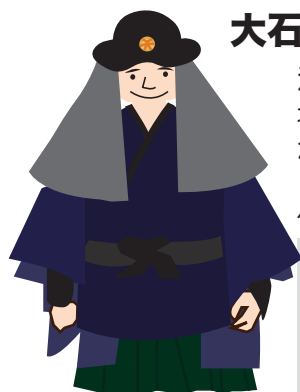
坂上田村麻呂 ヒゲマロ将軍

平安時代初期、桓武天皇に仕え東国平定に成功した武人。初めて征夷大將軍の称号を受ける。「立ったまま葬れ」が遺言。

十条通の南側に坂上田村麻呂の墓として明治期に整備された場所がある。田村の森として勤修小学校の校歌にも登場。最近では西野山古墓説が有力。



大石内蔵助 クラノスケ



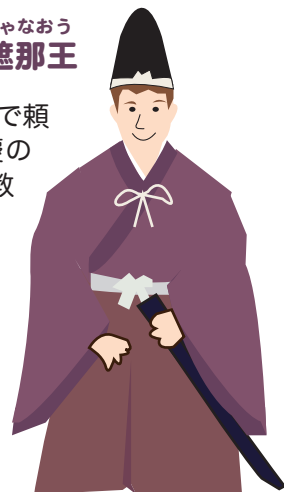
江戸中期、赤穂藩の筆頭家老。城主浅野内匠頭の殿中刃傷事件がもとで、元禄 14 年から元禄 15 年にかけて山科に隠棲し、仇討ちの機会を待った。

昭和 9 年創建の大石神社に御霊が祀られ、隣の岩屋寺に遺髪塚がある。岩屋寺境内に隠棲していたと伝わり、寺内には四十七士位牌などが残る。

源 義経 遮那王

平安時代後期の武将。源義朝の子で頼朝の弟。五条大橋の牛若丸と弁慶の話や、鞍馬寺での天狗に剣術を教わった話は有名。横笛の名手で、美男子だったそう。

牛若が元服して遮那王と名乗った頃、東国へ落ち延びるため山科を通った。血洗町はその時 9 人の平家侍を倒し刀を洗った場所。供養地藏が日ノ岡に散在。



人康親王 天夜尊サネヤス



平安時代初期の仁明天皇第四皇子。目を煩い山科に隠棲御所を築き和歌を詠んだり楽器をたしなんだ。江戸時代には琵琶法師の祖と仰がれた。

四ノ宮はこの第四皇子が語源で、諸羽神社付近はかつて御所平と呼ばれた。四宮地藏徳林庵や十禅寺、琵琶琴元四宮大明神などは琵琶法師ゆかりの地。

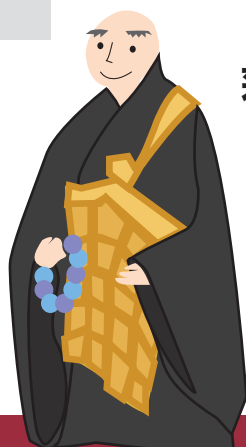
小野 篁 野宰相

平安時代初期の公卿。若い頃に天皇の反感を買い左遷されるも、朝廷に呼び戻され能力を発揮！夜な夜な閻魔大王に遭えたとの噂が今に残る。

四宮地藏など京の出入口にある六地藏はこの人の作とされる。平安朝の頃は東山区には六道珍皇寺付近に住み、冥界に入りしたという井戸が残る。



蓮如上人 ショーニン



親鸞聖人の子孫で本願寺第八代にして中興の祖。浄土真宗（お西さん）のお仏壇をのぞくと右側にかかっている肖像画の人。

山科には蓮如が築いた農民自治の平和の寺内町「山科本願寺」があった。「その莊嚴仏国の如し」と唄われ、周囲の土塁が中央公園などに残る。

われら、山科の歴史ヒーロー
六道の辻、チャンバーライブ
『剣誠神（けんせいじん）』
以後、よろしゅうおたの申す！